

鬼怒川パークホテルズ源泉 温泉成分・禁忌症・適応症

※大浴場掲示表からの映しになります。

1. 源泉名 パークホテル源泉
2. ゆう出地 日光市鬼怒川温泉大原字三ツ石1409番地
3. 泉質 単純温泉（弱アルカリ性低張性高温泉）
4. ゆう出地の試験成績
(1) 泉温 30℃ (2) 水素イオン濃度 8.0 (3) ラドン含有量 _____ $\times 10^{-10}$ Curie
(4) 性状 無味澄明、無味でわずかに硫化水素臭を有する。
5. 試験室の試験成績
(1) 比重 0.9989 (2) 水素イオン濃度 8.10 (3) 蒸発残留物 755.7 mg/kg
(4) 成分統計 786.8 mg/kg
(5) 本泉 1 kg中に含有する成分及び分量 (mg)

【陽イオン(カチオン)】	【陰イオン(アニオン)】	【遊離成分】
ナトリウム 168.2	フッ素 5.5	非解離成分
カリウム 2.9	塩素 99.5	メタケイ酸 26.4
カルシウム 70.6	硫素 328.1	メタホウ酸 6.3
マグネシウム 2.9	炭酸水素 71.4	非解離成分計 32.7
アルミニウム 0.5	炭素 2.5	
マンガン 0.1	硫化水素 0.5	溶存塩質計 785.6
第一鉄 0.2		(ガス性のもの除く)
計245.4	計507.5	

【その他成分】	【遊離成分】
総水銀 0.000 総硫素 0.033 亜鉛 0.014	溶存ガス成分
カドミウム, 銅, 鉛, 総クロム 0.01未満	二酸化炭素 1.1
	硫化水素 0.1
	溶存ガス成分計 1.2

【浴用の禁忌症】

急性疾患(とくに熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、妊娠中(とくに初期と末期)、その他一般に病勢進行中の疾患

【浴用の適応症】

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復、疲労回復、健康増進

【入浴量の注意事項】

- ・温泉治療を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2～3回までとすること。
- ・温泉治療のための必要時間は、概ね2～3週間を適当とすること。
- ・温泉治療開始後概ね3日ないし1週間後に、湯あたり(湯さわり又は浴場反応)が現れることがある。湯あたりの間は入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
- ・以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
 - ア. 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してもよい。
 - イ. 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
 - ウ. 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。(湯ただれを起こしやすい人は浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのが良い。)
 - エ. 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
 - オ. 次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。
 - ①高度の動脈硬化症 ②高血圧症 ③心臓病
 - カ. 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意すること。
 - キ. 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
 - ク. 飲酒しての入浴は特に注意を要する。